



2025 年 7 月 8 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 T O R I C O
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 安 藤 拓 郎
(コード番号：7138 東証グロース市場)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 鯉 沼 充
(TEL. 03-6261-4346)

資金使途の変更に関するお知らせ

当社は、2025年7月8日開催の取締役会において、2025年4月25日付「業務資本提携に関する契約の締結、並びに第三者割当による第9回新株予約権及び第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の発行に関するお知らせ」にて公表していた資金使途について、以下のとおり一部変更することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 資金使途変更の理由

当社は、2025年4月25日付「業務資本提携に関する契約の締結、並びに第三者割当による第9回新株予約権 及び第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の発行に関するお知らせ」にて公表していた資金使途について、当初、第9回新株予約権より M&A による事業拡大として 298 百万円を充当することを予定しておりました。

しかしながら、現時点においては当社の成長戦略に合致する M&A の対象企業を見極めるにはなお一定の時間を要する見通しであることから、資金の有効活用を図るべく、急速に市場規模が拡大している暗号資産市場への投資に方針を転換することといたしました。特に、デジタル経済の進展に伴うブロックチェーン技術および暗号資産の普及は、新たなビジネス機会を創出する可能性を秘めております。

当社は健全な財務基盤を維持しながら、第9回新株予約権より当初予定していた M&A による事業拡大に向けた資金を、ビットコインなどの主要な暗号資産の取得に充てることで、新たな収益機会の創出および資産構成の多様化を進め、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

なお、新株予約権による資金調達、その行使状況に依存する性質を有していることから、想定通りに新株予約権の行使が進まない場合においても、必要に応じて柔軟な資金調達手段を講じることで、ビットコインの購入を着実に実行可能な体制を整えてまいります。

また、M&A による事業拡大は引き続き当社の重要戦略の一つとして推進しており、今後、当社の成長戦略に合致する適切な対象企業が現れた場合には、状況に応じて別途の資金調達手段を用いて柔軟に対応する方針です。

2. 変更の内容

本資金使途の変更内容は以下のとおりとなります。（変更箇所は下線で示しております。）

(1) 変更前の資金使途（当初計画）

| 具体的な使途 | 金額（百万円） | 支出予定時期 |
|----------------------|-------------------|------------------------------|
| ①アジア市場への本格展開に向けた戦略投資 | 297 (新株予約権付社債) | 2025 年 6 月～2028 年 5 月 |
| ②M&A による事業拡大 | 298 (新株予約権) | <u>2025 年 6 月～2030 年 5 月</u> |
| 合計 | 595 | |

(2) 変更後の資金使途

| 具体的な使途 | 金額（百万円） | 支出予定時期 |
|----------------------|-------------------|-------------------------------|
| ①アジア市場への本格展開に向けた戦略投資 | 297 (新株予約権付社債) | 2025 年 6 月～2028 年 5 月 |
| ②ビットコインの購入 | 298 (新株予約権) | <u>2026 年 1 月～2027 年 12 月</u> |
| 合計 | 595 | |

本件資金使途の変更について、業務資本提携を締結しておりますグロースパートナーズ株式会社からも理解を得ており、今後の連携については、従前の M&A 候補の選定という枠組みに限らず、暗号資産を含む次世代戦略領域への知見を活かした協議・連携の継続を検討しております。

3. 変更が業績に与える影響

本件資金使途変更により新たに開始する暗号資産の取得および保有を含む財務運用活動に伴う今期業績への直接的な影響は軽微であると見込んでおりますが、将来的には財務戦略の柔軟性向上および企業価値の向上に資するものと判断しております。今後の運用状況や意思決定に重要な変化が生じた場合は、速やかに情報開示を行ってまいります。

4. 今後の見通し

当社は本資金使途変更を通じて、次世代デジタル経済に対応した財務および事業戦略を推進し、中長期的な企業価値の最大化を図ってまいります。

以 上